

(大証金ファクト・ブック)

証券のための金融、証券による金融



# いま大証金は —大阪から全国へ—

平成16年11月11日、12日(大阪、東京)

大阪証券金融株式会社  
<http://www.osf.co.jp/>



# 目 次

## 1. はじめに

- ( 1 ) 会社の特色..... 1
- ( 2 ) 信用取引と貸借取引..... 2
- ( 3 ) 一般信用取引と当社信用サポートローン... 5

## 2. 平成16年度中間連結決算の概要

- ( 1 ) グループの概要..... 6
- ( 2 ) 決算の推移（連結、単体）..... 7
- ( 3 ) 関係会社の決算状況..... 8

## 3. 当社の収益動向

- ( 1 ) 平成16年度中間決算の特徴..... 9
- ( 2 ) 主要勘定の推移等
  - 資金運用残高、利鞘収入..... 10
  - 利回り、利鞘..... 11
  - 資金運用残高の内訳..... 12

- 証券レポ残高の内訳..... 13
- 主要資産別運用収益..... 14
- 資金調達残高の内訳..... 15
- 有価証券貸付料の内訳..... 16
- 一般管理費の内訳..... 17
- ( 3 ) 平成16年度の見通し..... 18

## 4. 経営指標の状況

- ( 1 ) 健全性チェックリスト..... 19
- ( 2 ) 収益性関連指標の推移..... 20

## 5. 今後の取組み

- ( 1 ) 中期経営計画の実現..... 21
- ( 2 ) 企業体質の強化..... 23
- ( 3 ) 収益力向上のための4つのエンジン..... 24



# 1 . はじめに

## ( 1 ) 会社の特色

- 〔役割〕 ○ **証券取引法の免許を受けた会社で制度金融（貸借取引）の担い手**
- **証券関連融資や証券貸借を通して証券市場の機能発揮をバックアップ**

- 〔概要〕 ○ **東京（第1部）、大阪（第1部）の各証券取引所に上場**
- **資本金35億円、株主資本242億円で、自己資本比率は高水準**
- **役職員全体で90名強の少数精鋭**

- 〔実績〕 ○ **経常利益は、創立以来50年余黒字を継続**
- **配当金は、平成2年以来、年6円を継続**
- **格付は上位**

長期債格付けは **A** - [R & I（格付投資情報センター）]

短期債格付けも **a - 1** [R & I]、**J - 1** [JCR（日本格付研究所）]

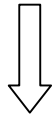
（単体ベース）



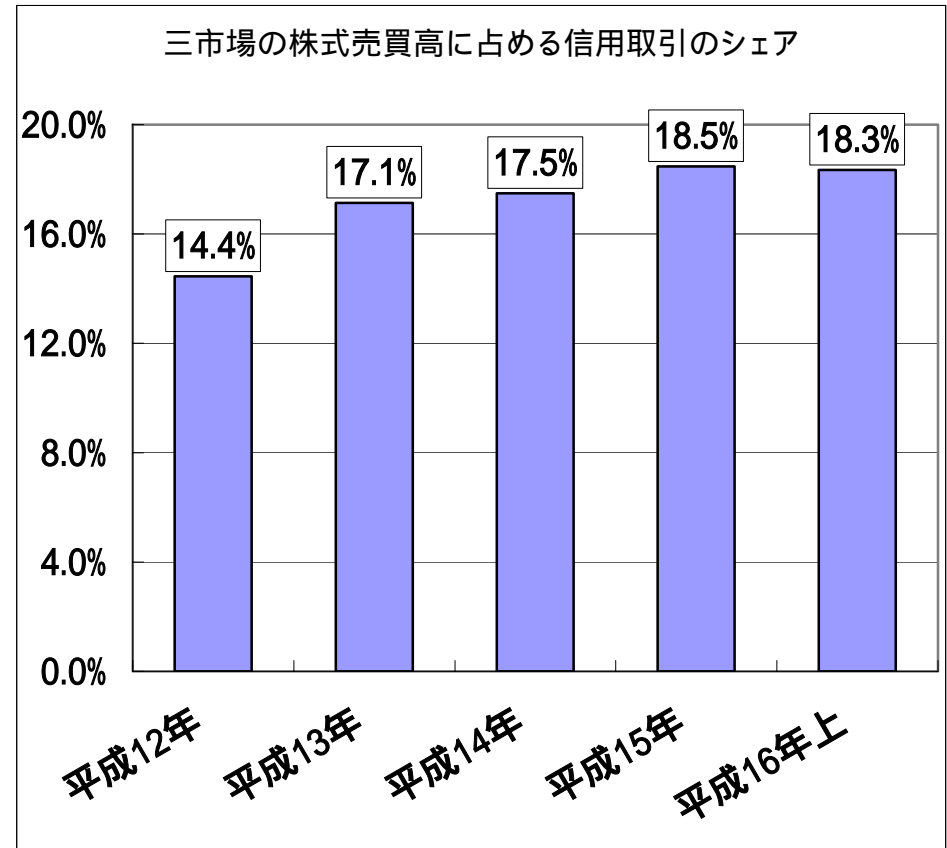
## (2) 信用取引と貸借取引

### 信用取引の特徴

- ・レバレッジ（通常30の資金で100の投資が可能）
- ・「買い」だけでなく「売り」もできる。



流動性の向上に貢献



(注)三市場(大阪・東京・名古屋)、暦年ベース

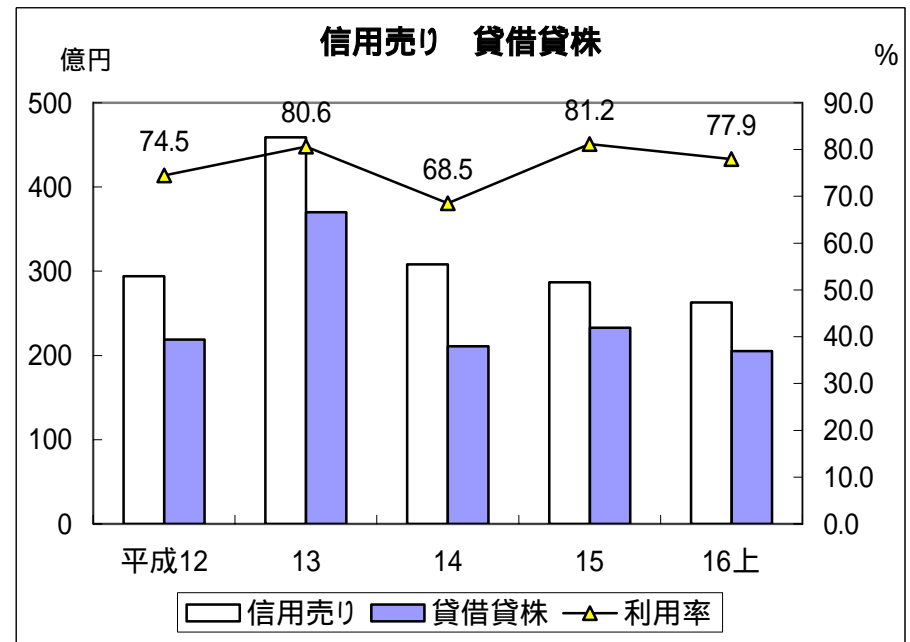
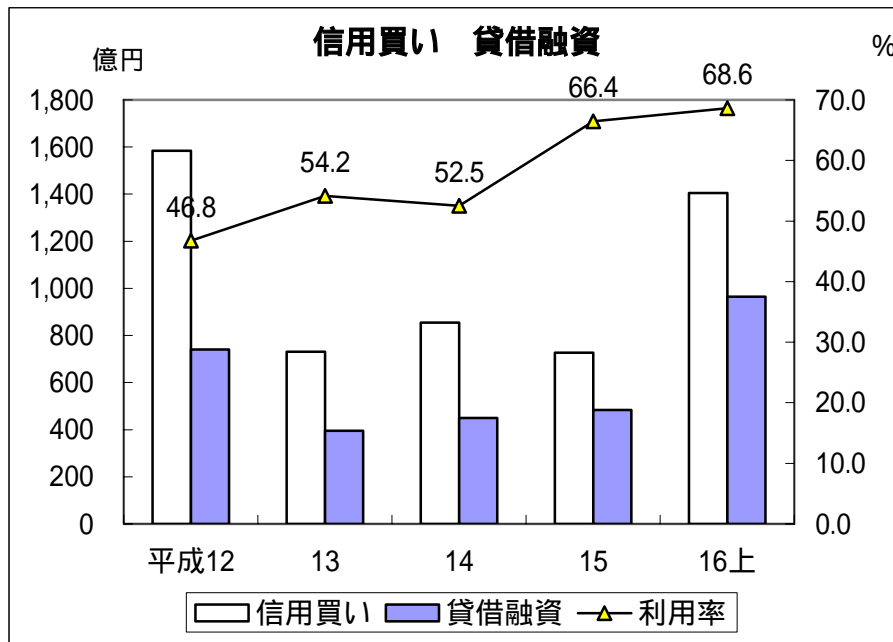


## 「制度信用取引」をバックアップする貸借取引

制度信用銘柄のうち一定の条件(売買高、株式数等)を満たした銘柄 「貸借銘柄」

大阪市場では、制度信用取引の「買い」については「50～60%以上」を「貸借取引」でバックアップ  
「売り」については「80%程度」

### 制度信用取引における貸借取引の利用状況(大阪市場)

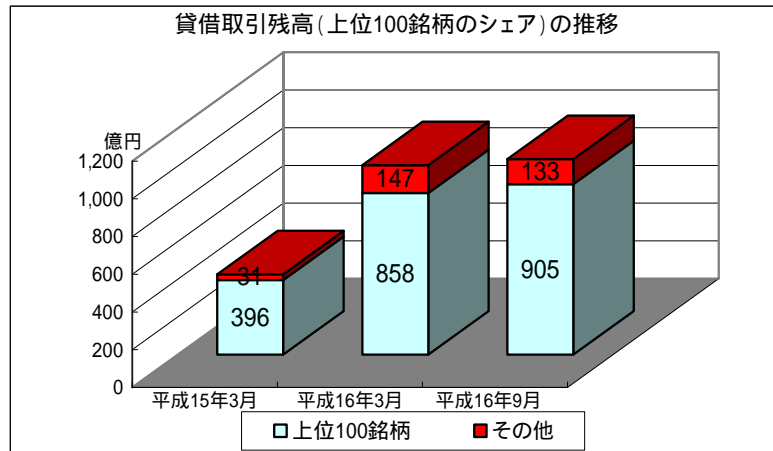


(注)年度ベース、平残ベース



## 大阪市場のコア銘柄...全貸借取扱銘柄(1,084銘柄)のうち、約1割で貸借取引残高の約9割をカバー

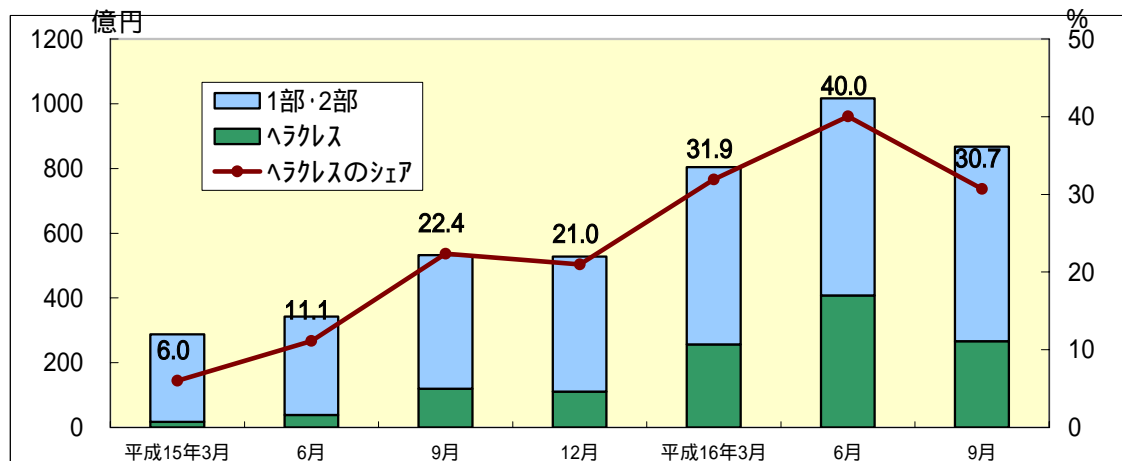
## 新興市場の貸借取引状況



(平成16年10月末)

	上場銘柄数				貸借融資残高 (百万円)	貸借貸株残高 (百万円)
		内 制度信用銘柄				
		内 貸借銘柄	内 貸借融資銘柄			
ヘラクレス	105	105	21	84	23,832	356
マザーズ	111	26	9	17	9,256	186
ジャスダック	931	188	48	140	28,831	2,503

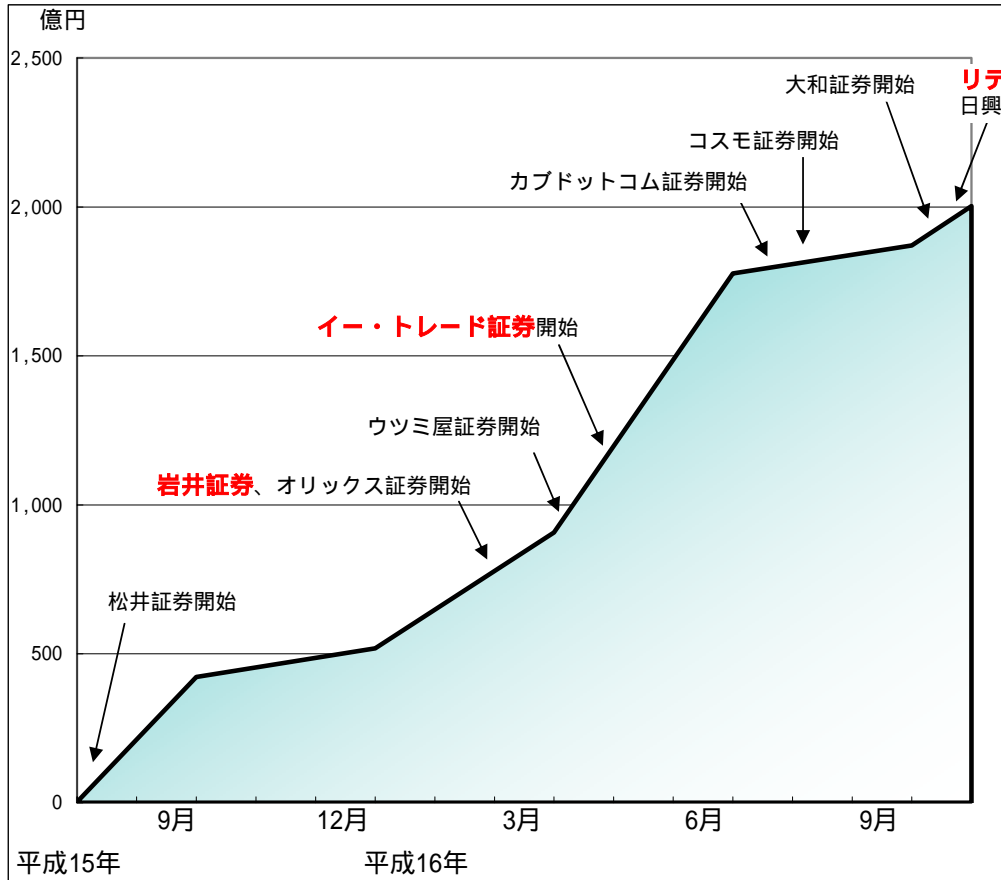
## 貸借取引融資残高におけるヘラクレス銘柄のシェア推移



(注)月末残高



### (3) 一般信用取引(無期限信用)と当社信用サポートローンの開始



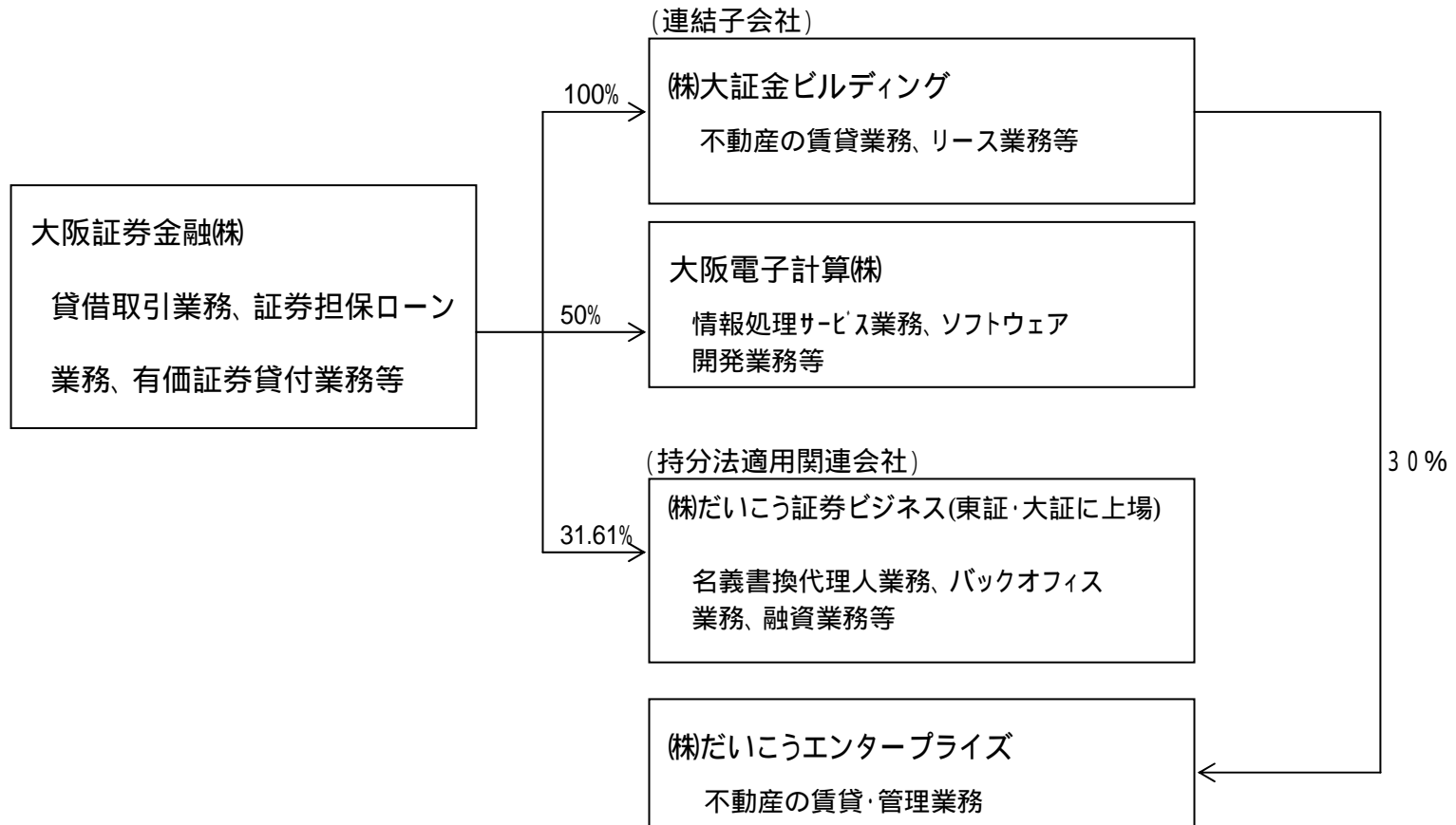
- 15年 7月 松井証券が開始
  - 16年 3月 岩井、オリックス証券参入
  - 4月 ウツミ屋証券参入  
イー・トレード証券参入  
(信用サポートローン利用)
  - 7月 カブドットコム証券参入( )  
コスモ証券参入
  - 10月 大和証券  
リテラ・クレア、日興ビーンズ証券参入  
(信用サポートローン利用)
  - 11月 岩井証券信用サポートローン利用開始
- カブドットコム証券は3か月期限

(16.4.16までは3市場信用残高、16.4.23以降は3市場信用残高+JASDAQ信用残高合計)



## 2. 平成16年度中間連結決算の概要

### (1) グループの概要







(2) 決算の推移(連結、単体) - 連結、単体とも経常増益

(単位:百万円)

年 度	連 結			単 体		
	営業収益	経常利益	当期純利益	営業収益	経常利益	当期純利益
平成 12	8,888	183	347	4,020	286	307
13	9,837	83	14	4,813	138	150
14	6,255	472	527	3,623	479	547
15	7,021	967	586	3,575	649	633
15/上	2,927	300	296	1,734	236	264
16/上	2,927	313	304	1,860	303	302

(注) 金額は単位未満切捨て



### ( 3 ) 関係会社の決算状況

( 単位 : 百万円 )

年 度	連 結 子 会 社						持 分 法 適 用 関 連 会 社					
	(株)大証金ビルディング			大阪電子計算(株)			(株)だいこう証券ビジネス			(株)だいこうエンタープライズ		
	営業収益	経常利益	当期利益	営業収益	経常利益	当期利益	営業収益	経常利益	当期利益	営業収益	経常利益	当期利益
平成 12	754	59	32	3,041	21	20	10,042	1,642	762	318	54	31
13	741	102	59	3,314	333	183	10,520	1,156	191	315	41	24
14	736	94	89	2,622	129	49	9,854	665	225	286	27	16
15	715	189	127	3,606	302	60	10,139	1,024	206	248	6	4
15/上	361	88	25	1,307	1	18	4,892	401	176	124	0	0
16/上	345	68	101	1,145	85	79	5,394	548	315	97	16	10

( 注 ) (株)だいこうエンタープライズは平成 1 3 年度より持分法適用



(単位:百万円)

### 3. 当社の収益動向 増収増益

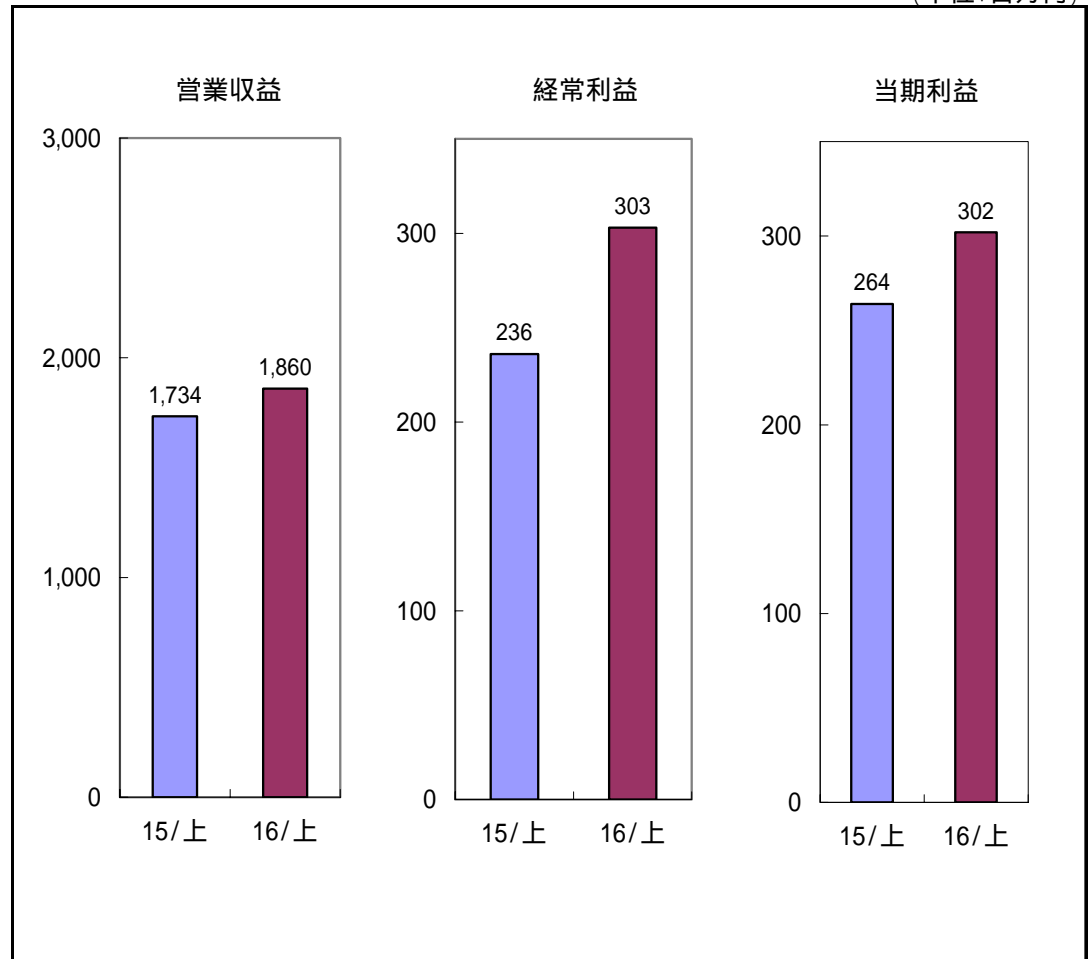
#### (1) 平成16年度中間決算の特徴

営業収益は増収 (+ 7.3%)

経常利益増益 (+ 28.3%)

- 一般管理費は若干増加

当期純利益増益 (+ 14.1%)

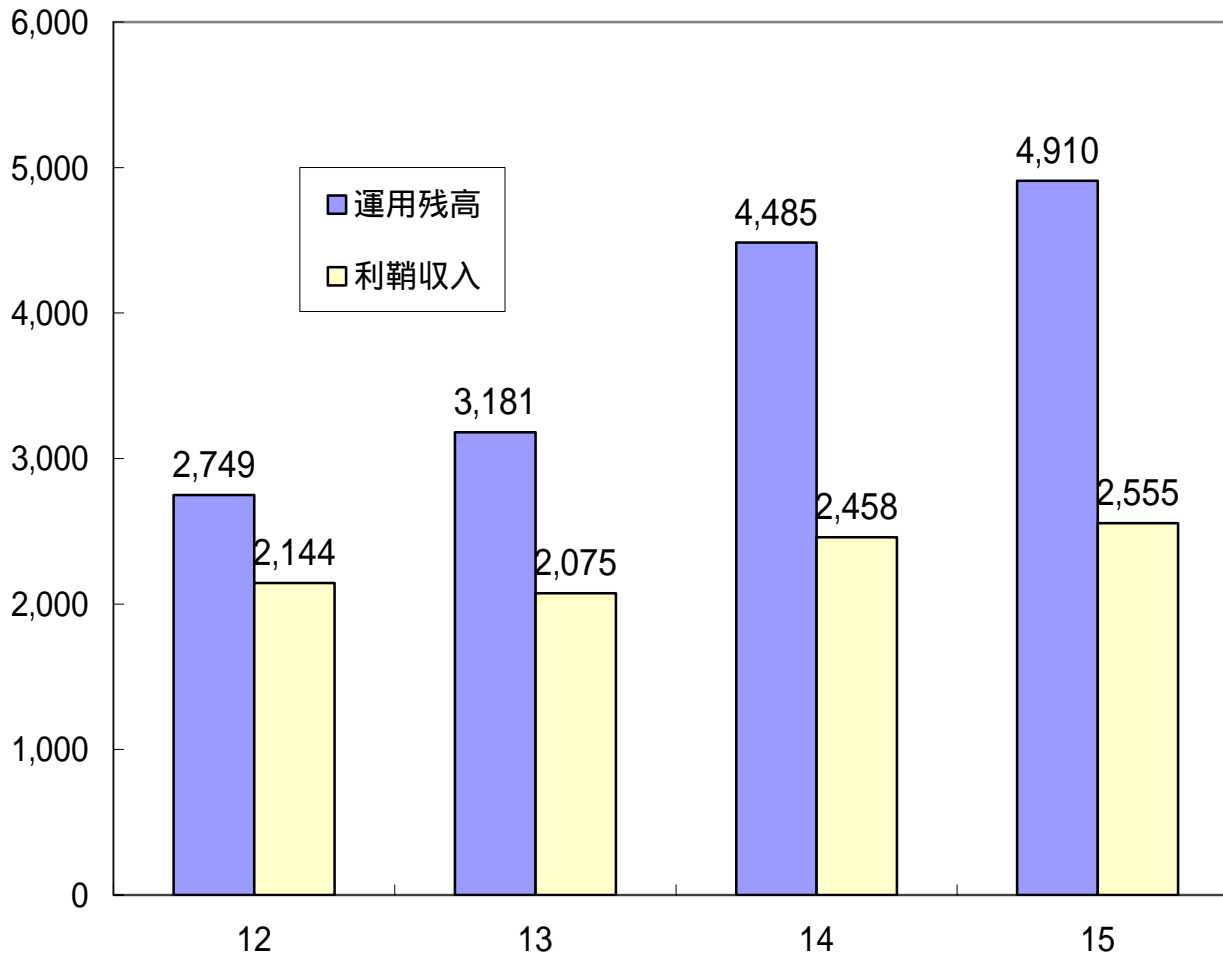


(注) 年度ベース

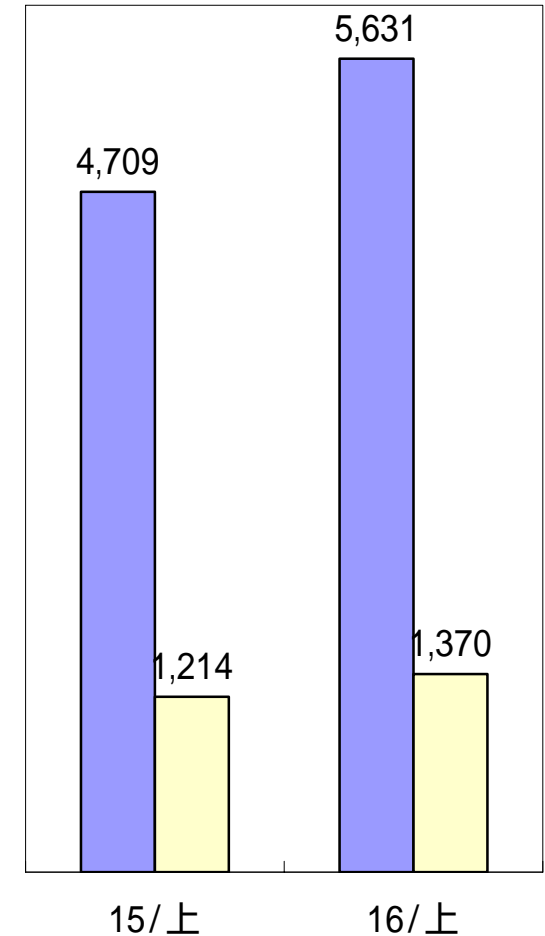


## (2) 主要勘定の推移等

資金運用残高、利鞘収入 残高、収入ともに増加



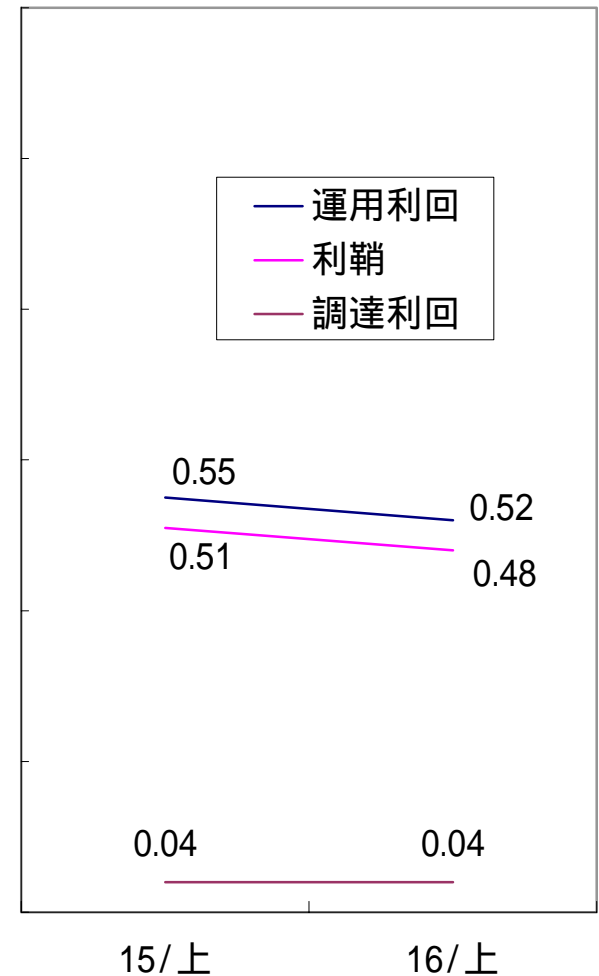
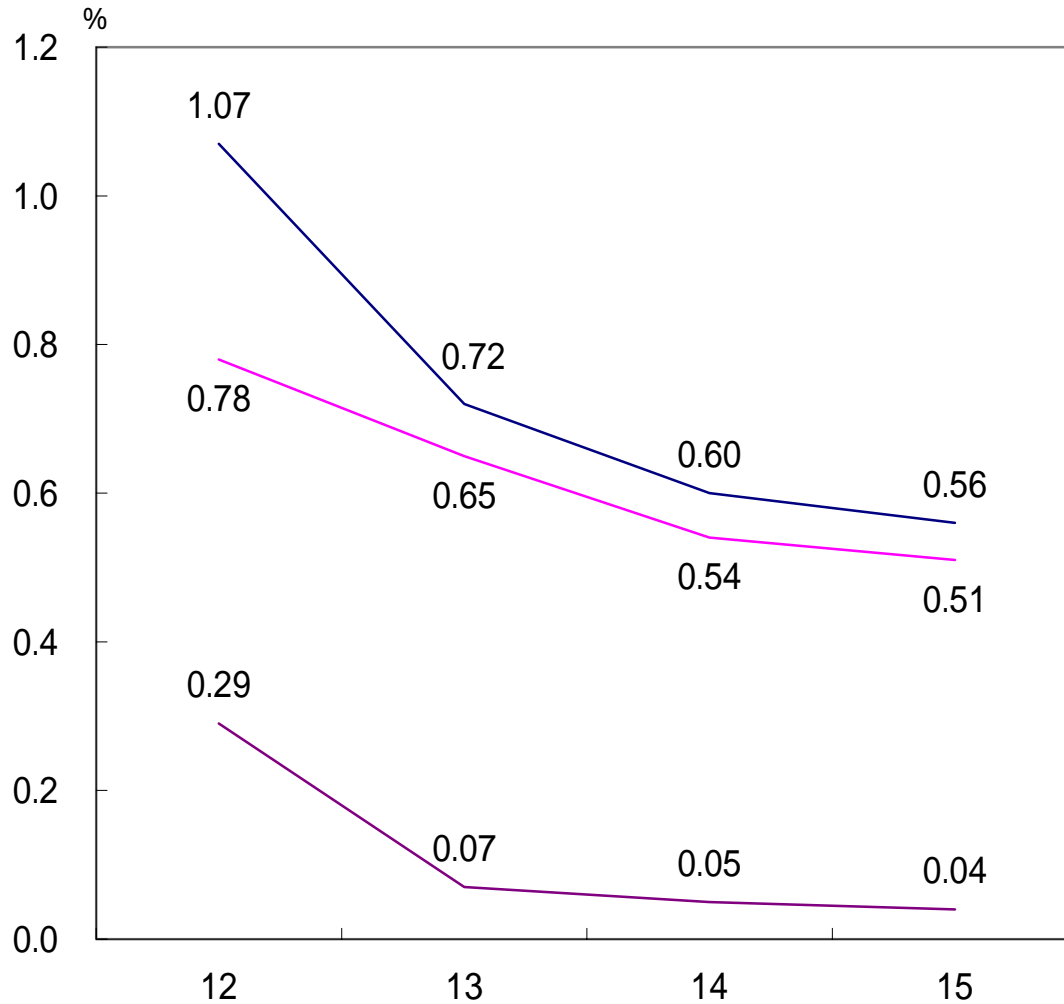
(単位: 運用残高は億円、利鞘収入は百万円)



(注) 年度ベース、平残ベース



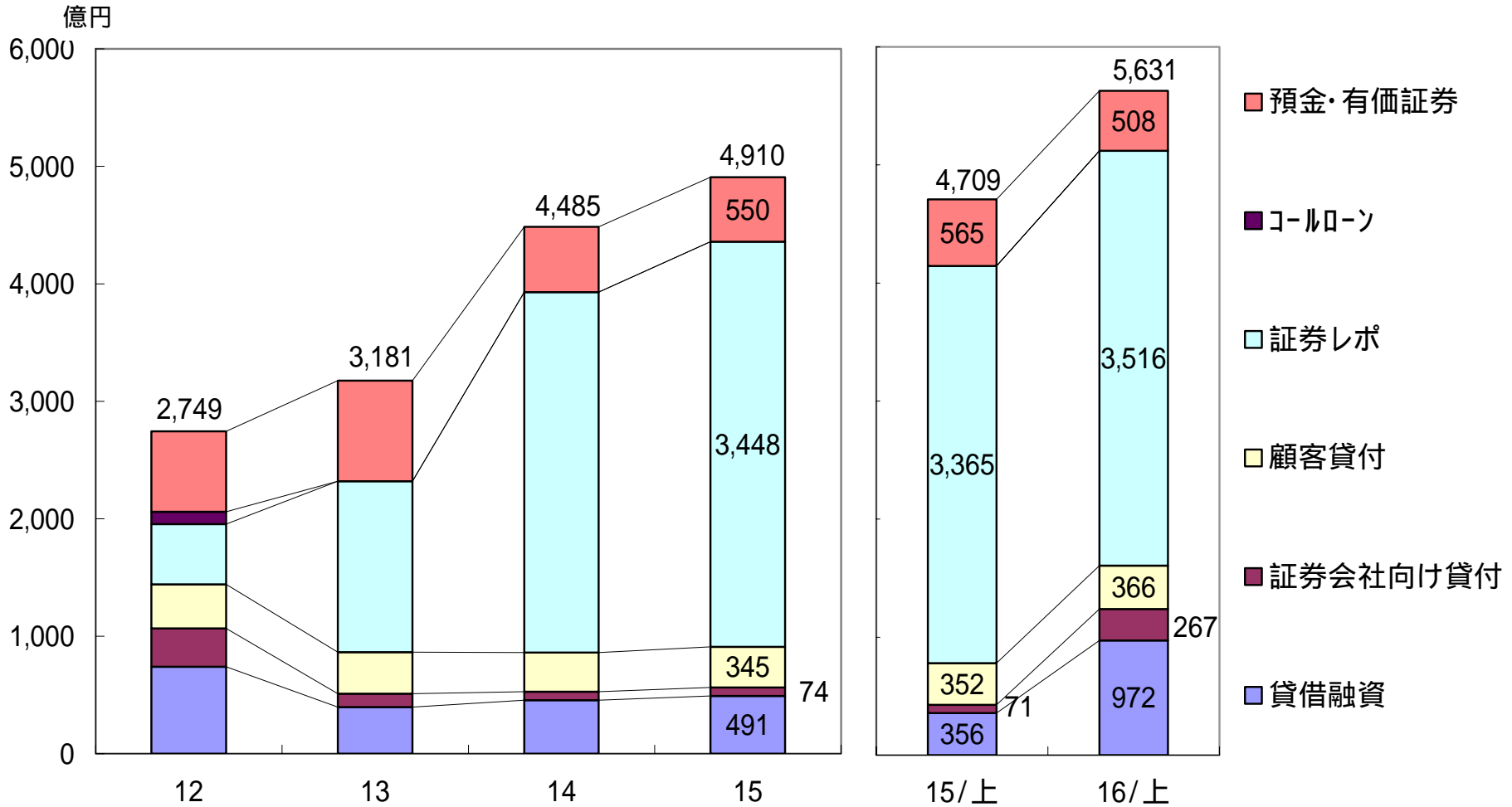
### 利回り、利鞘 - 低金利下、利鞘は縮小



(注) 年度ベース



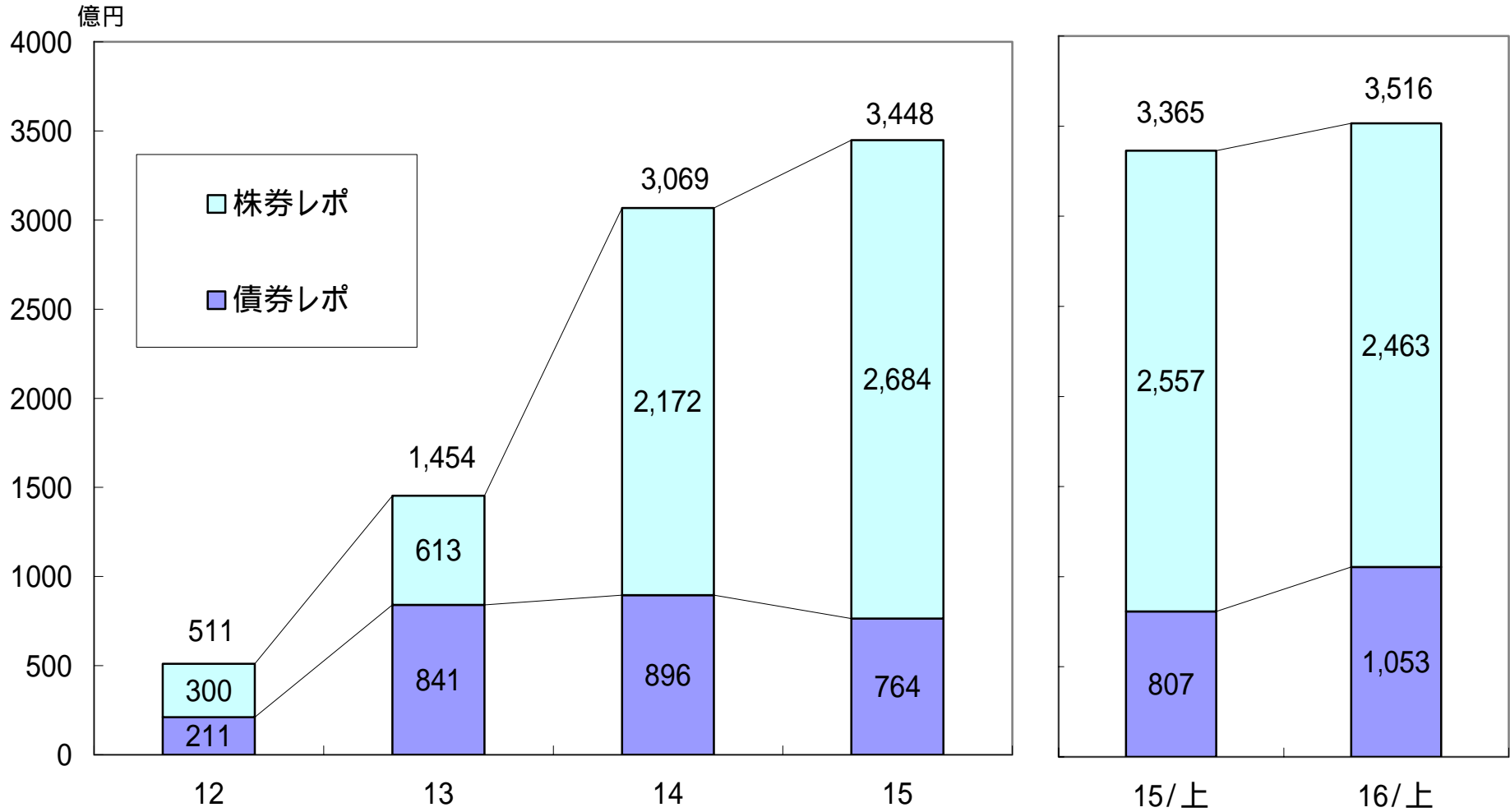
## 資金運用残高の内訳 - 貸借、信用サポートローン、レポ運用が増加



(注) 年度ベース、平残ベース



## 証券レポ残高の内訳 - 株券レポのシェア約7割



(注) 年度ベース、平残ベース



主要資産別運用収益 顧客貸付、証券レポで7割強

(単位：百万円)

	平成12	13	14	15	15/上	16/上
制度金融等	799	350	340	351	128	398
（貸借融資）	(587)	(255)	(277)	(302)	(110)	(299)
（証券会社向け貸付）	(212)	(95)	(62)	(48)	(18)	(99)
顧客貸付	1,312	1,192	1,135	1,218	584	630
証券レポ	541	507	1,092	1,107	556	416
預金・有価証券	259	233	135	94	50	38
コールローン	26					
合計	2,940	2,285	2,703	2,771	1,320	1,484

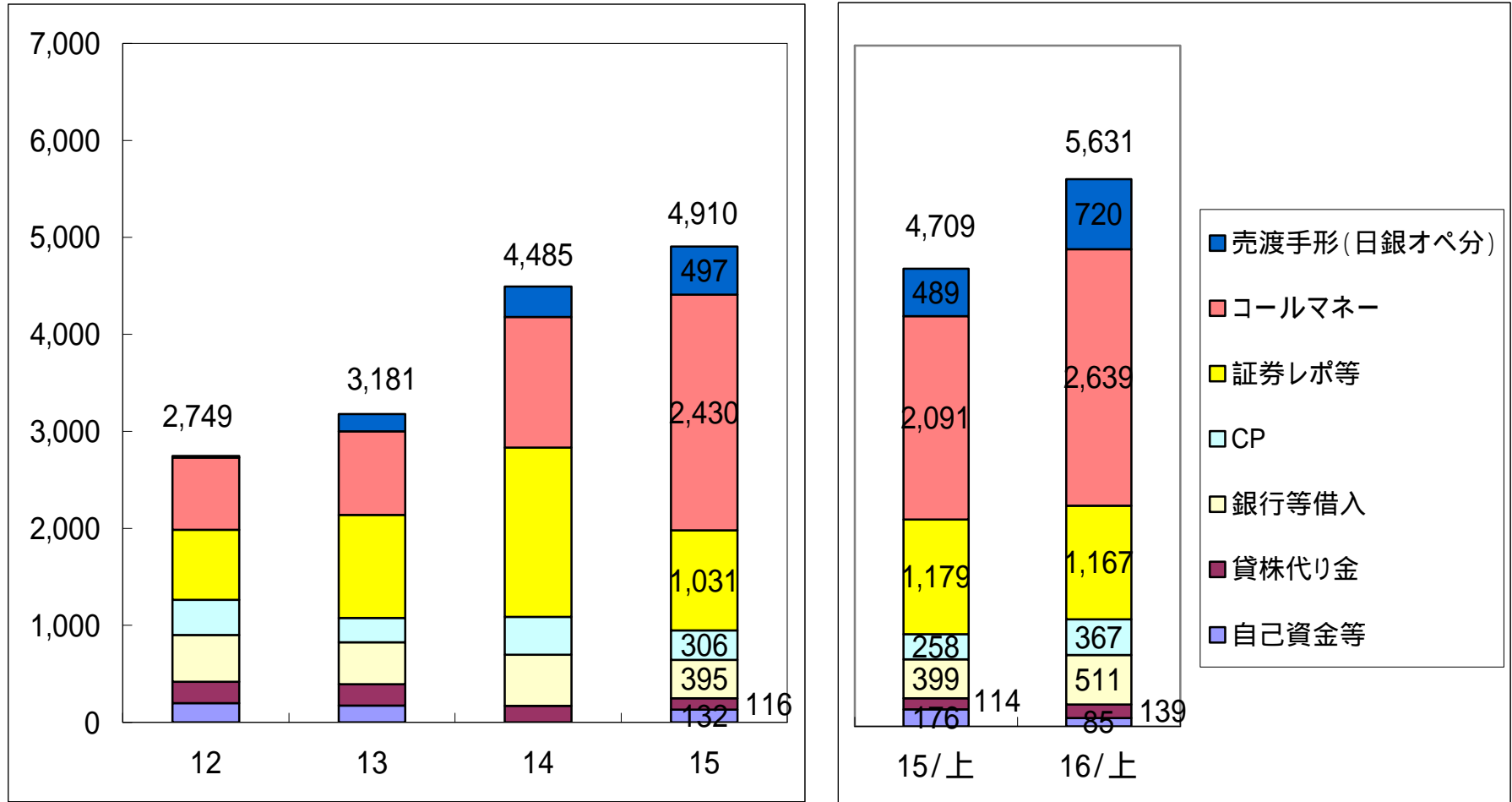
- (注) 1. 運用収益はグロスベース  
2. 年度ベース





## 資金調達残高の内訳 - 低利のコールマネー取入増

億円



(注) 年度ベース、平残ベース



有価証券貸付料の内訳 貸借取引貸株料減収

(単位：百万円)

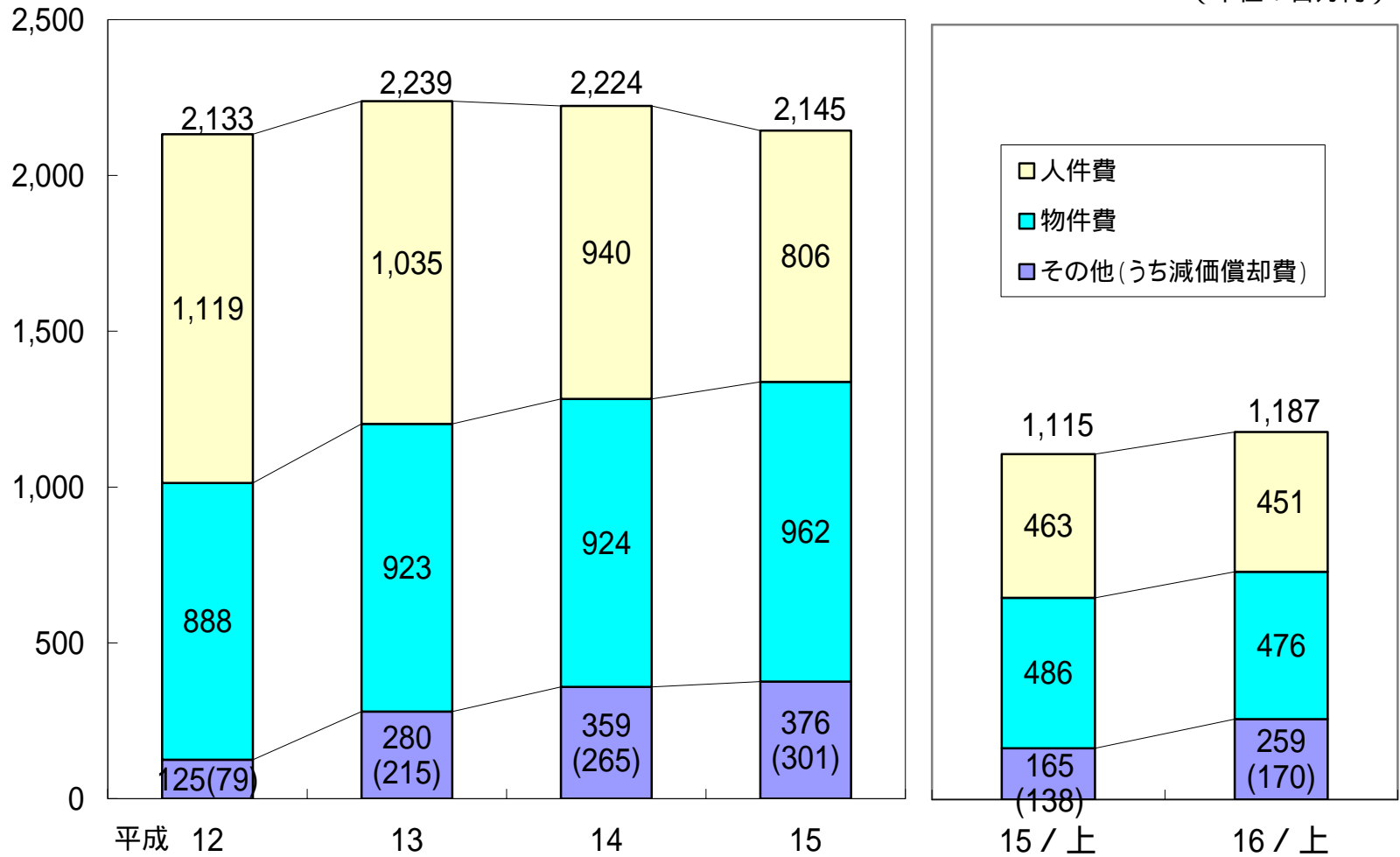
年 度	平成 12	13	14	15	15/上	16/上
貸借取引	37	127	106	124	65	47
(グロスベース)	(656)	(1,962)	(520)	(457)	(247)	(167)
(うち貸借取引貸株料)	( )	( )	(73)	(97)	(52)	(43)
一般貸株	107	119	52	73	24	58
債券貸借	32	58	56	47	30	20
合 計	177	305	214	244	119	126

(注) ネットベース (貸付料 借入料)



(単位：百万円)

一般管理費の内訳 人件費、物件費減少、減価償却費増加



(注) 年度ベース



( 3 ) 平成 1 6 年度の見通し

( 単位 : 百万円 )

	連 結		単 体	
	平成 1 5 年度実績	平成 1 6 年度見通し	平成 1 5 年度実績	平成 1 6 年度見通し
営業収益	7,021	6,600	3,575	3,800
経常利益	967	1,100	649	650
当期純利益	586	800	633	550



## 4. 経営指標の状況

### (1) 健全性チェックリストー高い健全性

(平成16年9月末)

<p>格付</p> <p>短期債 <b>a-1</b> [格付投資情報センター(R&amp;I)]</p> <p><b>J-1</b> [日本格付研究所(JCR)]</p> <p>長期債 <b>A-</b> [格付投資情報センター(R&amp;I)]</p>	
<p>自己資本比率</p> <p>(1) 銀行ベース(BIS基準) = <b>12.6%</b></p> <p>(2) 証券会社ベース(証券取引法基準) = <b>1,098.7%</b></p>	<p>&lt;参考&gt;</p> <p>国際統一基準行単体ベース平均 11.6% (平成16年3月末現在)</p> <p>国内基準行単体ベース平均 8.8% (平成16年3月末現在)</p> <p>&lt;参考&gt;</p> <p>東証取引参加資格証券会社(108社)平均 499.0% (平成16年6月末現在)</p>
<p>貸出不良債権</p> <p>実質破綻債権、破綻懸念債権、要注意債権合計 3.0億円</p> <p>貸付金総額1,601.1億円に対する割合 <b>0.18%</b></p>	<p>&lt;参考&gt;</p> <p>全国銀行(128行)平均 3.49% (平成16年3月末現在)</p> <p>金融庁が発表したリスク管理債権総額のうち破綻先債権と延滞債権の合計を貸付金総額で除して算出</p>



( 2 ) 収益性関連指標の推移 収益性向上が課題

年 度	平成 12	13	14	15	15/上	16/上
株主資本利益率 (ROE)	(1.1) % 1.3	( 0.0 ) 0.6	( 1.7 ) 2.3	(1.8) 2.6	(1.8) 2.2	(1.8) 2.4
株価収益率 (PER)	(24.4) 倍 27.7	( ) 50.7	( ) 50.7	(25.5) 23.3	(14.4) 16.1	(18.8) 19.0
株価純資産倍率 (PBR)	(0.26) 倍 0.34	(0.23) 0.31	(0.22) 0.31	(0.42) 0.56	(0.26) 0.35	(0.35) 0.47
1株当たり配当	6.00 円	6.00	6.00	6.00		
期末株価	213 円	191	184	351	219	298

(注) ( ) は連結ベース



## 5 . 今後の取組み

### ( 1 ) 中期経営計画の実現

#### 基本認識

<b>使 命</b>	「証券のための金融、証券による金融」を担い証券市場の発展に貢献する
<b>目 標</b>	ステークホルダーズの次のような期待に応える  株 主：高い収益性の実現  お客様：ニーズへの対応、サービスの向上  従業員：「やる気」に応える職場の提供
<b>行動指針</b>	「ゼロからのスタート」の精神で、「ニーズ！スピード！チャレンジ！」を实践する



## 経営目標と利益計画

収益性	経常利益	平成 16 年度は 11 億円、平成 18 年度には 17 億円
	ROE	4 % 以上達成 (平成 19 年 3 月期)
	配当	年 6 円配当の維持、引上げ
健全性	自己資本比率	B I S 基準、証取法基準ともに高水準を維持
	格付	格付け向上を目指す

(単位：億円)

	平成 16 年度 (注)	平成 17 年度	平成 18 年度
営業収益	4 2	4 5	4 8
経常利益	1 1	1 4	1 7
当期純利益	7	8	1 0

(注) 平成 16 年度通期業績の見直しは 18 ページのとおり見直しを行っております。





## (2) 企業体質の強化 イメージは『ヒョウ』

「ニーズ!スピード!チャレンジ!」の実践

We are NO.2, so we try harder!

業界初のネット取引開始

一般信用取引対応の「信用サポートローン」開始

成果重視型の人事・給与制度導入

社会貢献活動への取組み着手

支店網の見直し

外気に積極的にあたる デイスクロージャーの推進

決算発表の早期化、四半期連結決算の発表

経営計画(当年度および3ヵ年度)の公表

年二回東京、大阪で会社説明会を開催



### (3) 収益力向上のための4つのエンジン

#### 1 コムストックローン(小口〔上限3千万円〕向け非対面取引・・・全国展開)

ネット取引

<コムストックローン・E\*トレード>(15年7月)

イー・トレード証券口座に預けたままネット申込みで融資

<コムストックローン・ダイレクト>(15年10月)

ネット申込み、担保は口座振替で融資

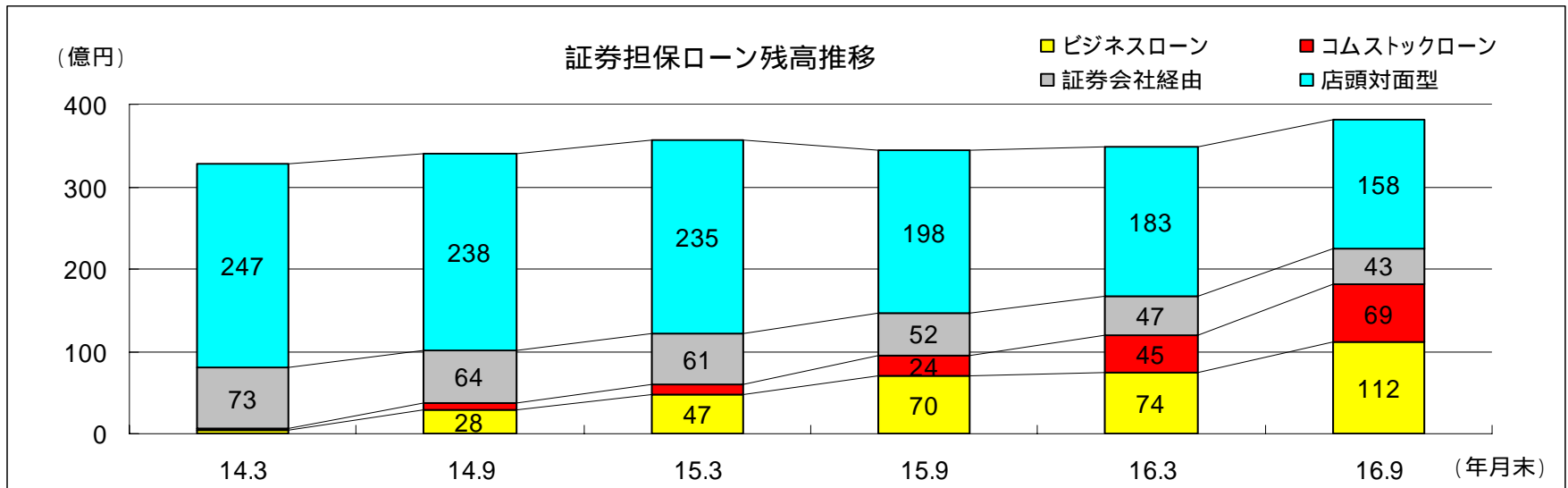
コールセンター取引

<コムストックローン・通信取引>(13年12月)

郵送・FAX申込み、担保は口座振替で融資

#### 2 ビジネスローン(大口〔上限5億円〕向け訪問型営業・・・14年6月東京支店に専担者、首都圏本格展開)

- ・ 上場企業オーナー・企業向け
- ・ 資金用途自由、スピーディーな審査(通常1日から2日)
- ・ ポイント制による貸出上限額設定などリスク管理の徹底

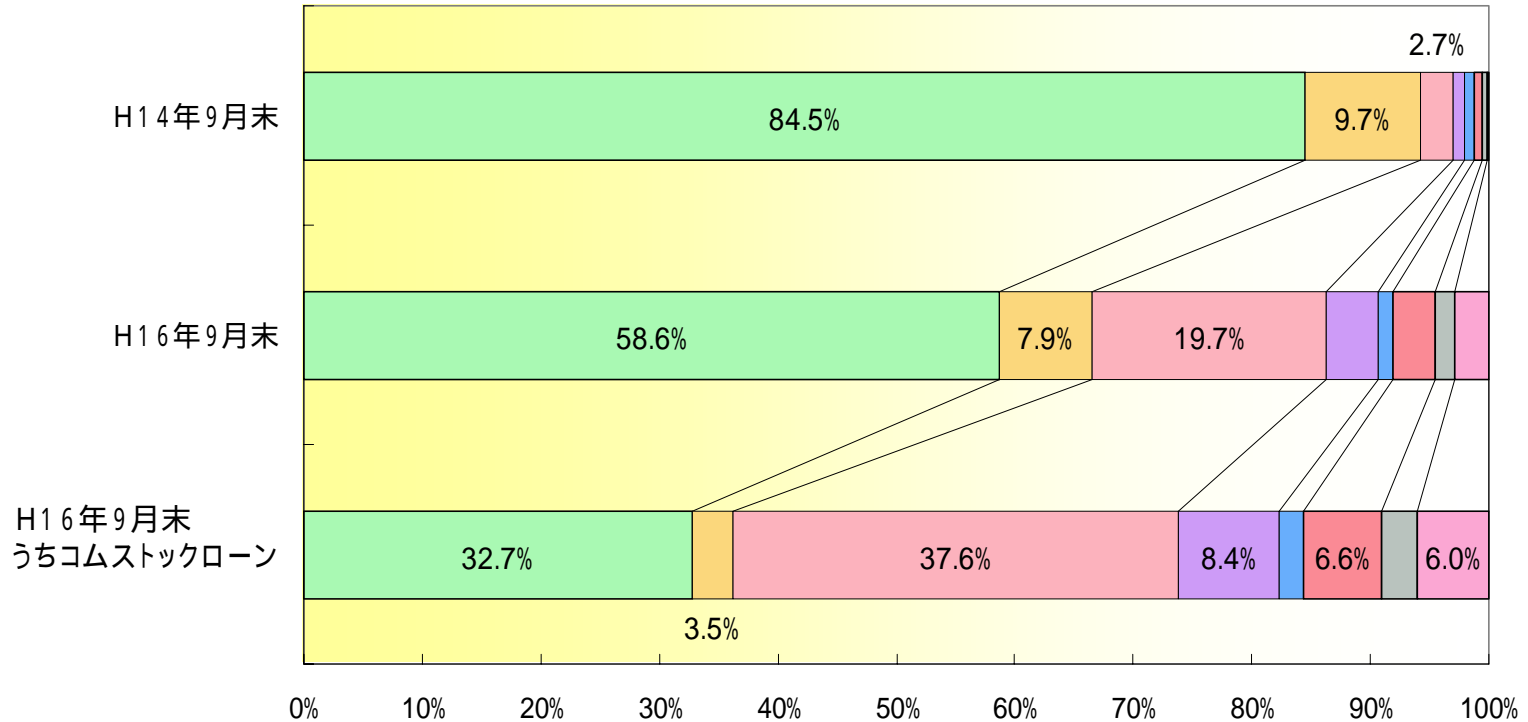




(参考)

## 証券担保ローンの顧客地域分布

■ 近畿 ■ 中国 ■ 関東 ■ 東海 ■ 四国 ■ 九州・沖縄 ■ 信越・北陸 ■ 北海道・東北



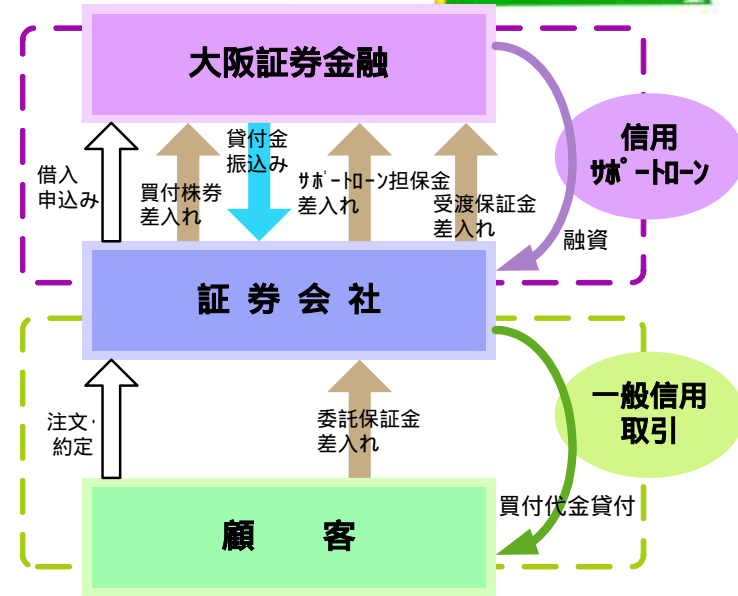


### 3 信用サポートローン

- ・ 証券会社の一般信用取引（買い）向け融資（16年4月取扱開始）
- ・ イー・トレード証券、リテラ・クリア証券、岩井証券3社と提携（16年11月現在）直近約300億円

#### 【特長】

JASDAQ銘柄含む全国上場銘柄（約3,600）取扱い  
 信用保証金代用有価証券の効率的な担保化を実現  
 インターネット対応システム(OSFカスタネット)で導入が容易  
 買付株券の権利保全は大証金、証券会社のバック事務負担を軽減



〔概念図〕

### 4 証券レポ

- ・ 平成13年度以降当社資金運用の過半を占め、直近は約62%のシェア
- ・ 資金運用先の拡大に注力
- ・ 厳格なリスク管理 金融機関に加え、新たに事業法人向けについてもチェック基準

〔レポ取引（当社の資金運用の場合）概要〕

